

せん断試験成績書
ボルトスクリューBS860

試験母材:ALC

TOPスピード&POWERファスニング
JPF
日本パワーファスニング株式会社

2016年5月16日

営業企画部

1. 試験目的

ALCパネルに施工したボルトスクリューのせん断荷重に対する抵抗特性を確認する。

2. 試験日、試験時気温および試験場所

2016年5月16日

茨城県筑西市森添島 日本パワーファスニング(株)下館工場 アンカー実験室

3. 試験項目

静的せん断試験

4. 試験体概要

(1) 試料(アンカー): ボルトスクリューBS860(M8×60L: 図1)



図1 ボルトスクリューBS860

(2) 試験母材: ALCパネル壁用 厚み 100mm × 600mm × 600mm

(3) 埋め込み: 下穴無しでインパクトドライバーにて深さ 40mm までねじ込み

(4) へりあき距離: 100mm

(5) アンカー施工間隔: 100mm

5. 試験機器

(1) 载荷および計測機器 テクノテスターRT2000LD (サンコーテクノ株式会社製)

(2) 記録装置 テクノテスターグラフ (サンコーテクノ株式会社製)



図2 試験機器と試験体全景(イメージ)

6. 試験結果

(1) 最大荷重

表1 せん断試験結果(最大荷重:kN)

No.	最大荷重
1	1.98
2	1.93
3	1.91
4	1.78
5	1.87
平均	1.89
標準偏差	0.08
変動係数	4.0%

(2) 破壊形態

全数試料の若干の曲がりを伴うALC穴の支圧破壊。左から試験No1~5



図3 試験後試料状況(載荷方向:上向き)



図4 ALC穴支圧破壊状況



図5 試験後試料曲がり状況(上:試験前、下:試験後)

(3) 荷重変形特性

代表的なパターンを図6に示す(試験 No1)。他の試料も同様の傾向を示した。

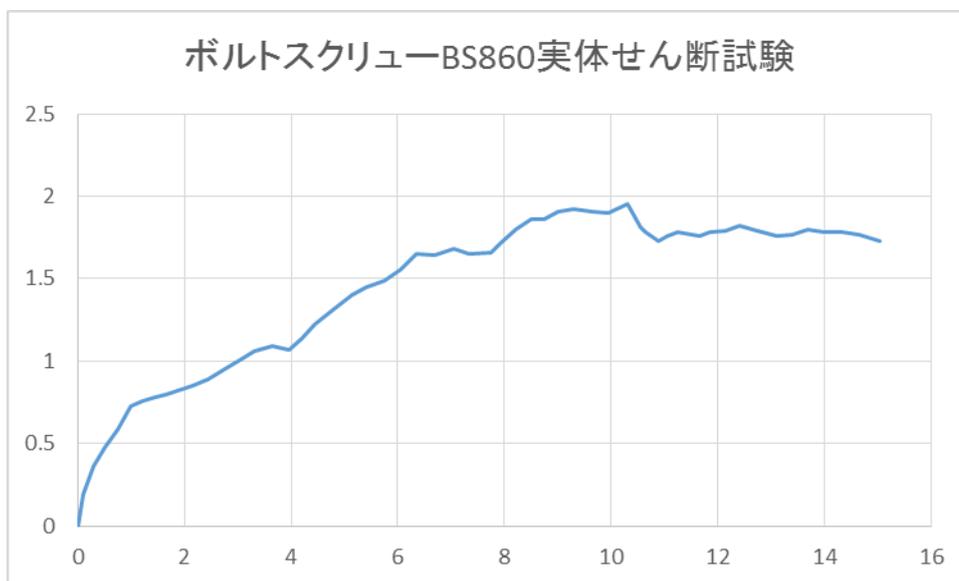


図6 荷重変形曲線 (縦軸: 荷重 kN 横軸: 変位 mm)

【本書使用上の注意事項】

本書に記載のデータは全て実験値であり、保証値ではありません。

現場の躯体の状態や施工精度を考慮し、十分な安全率を掛けた上でご使用ください。

8. 試験担当者

日本パワーファスニング(株) 営業企画部 長谷部

以下余白